

歴史の授業 6年生

6年2組の社会科歴史の授業を参観しました。戦国から天下統一へということで、豊臣秀吉がした「検地」と「刀狩り」について紹介。その中でも、時間や手間がかかることに触れることで、子供達に「なぜ時間や手間がかかるのに、そこまでして検地や刀狩りをしたのだろう。」と、疑問をもたせます。その「なぜ」を本時のめあてとして、まずは各自予想を立てさせ、教科書や資料集から情報を収集させました。各自の考えはタブレットで共有しYチャートにまとめながら、織田信長とも比べていきました。昨日から来ている2人の教育実習生も授業を参観し、テンポよく進む工夫あふれる授業から多くのことを学んだようです。

